

# ほっと

2015.5  
第12号

## 福井循環器病院連携通信

(財)日本医療機能  
評価機構認定病院



福井循環器病院は、  
(財)日本医療機能評価機構が定める認定基準を達成していることを  
証する認定証の交付(平成25年1月18日付)を受けています。

### 理念

私たちは いついかなる時も  
自分たちの持てる力を 充分に発揮し  
最先端の医療を 提供できる様に 常に研鑽を積み  
患者さんに豊かな人生を 提供いたします



循環器科部長 三澤 克史

## 経カテーテル大動脈弁留置術(置換術) TAVI(TAVR)について

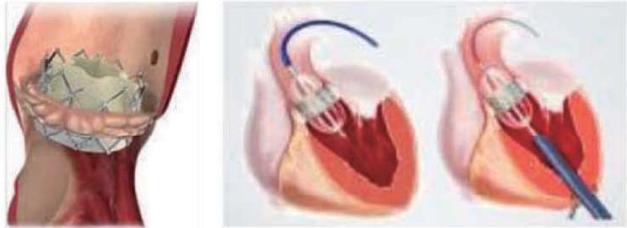
### 【大動脈弁狭窄症】

大動脈弁狭窄症は左室から大動脈への流出路にある大動脈弁が動脈硬化やリウマチ性の変化で動かなくなり、弁が開かなくなる病気です。近年、リウマチ性弁膜症が減少していく中、動脈硬化の進展とともに特に高齢者で増加している疾患です。  
大動脈弁狭窄症は病気が進行してもなかなか症状が出ず、胸の痛みや失神、心不全といった症状が出現すると1年後の生存率が50%程度まで低下する重篤な疾患です。薬物治療は困難で、基本的な治療は弁置換術(開胸して弁を置換する手術)になります。

### 【経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)】

しかし、患者さんのもとと高齢の方が多く、その他の疾患を合併していることも多く、手術ができない方も多数いらっしゃいます。こういった患者さんに対して開発されたのが、開胸せずに弁置換術が可能となるTAVIです。  
海外で行われたPARTNER試験では術後1年の死亡率が薬物療法49.7%に対してTAVI施行例では30.7%、開胸の大動脈弁置換術施行例では26.7%に対してTAVI施行例24.2%と薬物療法よりは有意に良好で、開胸の大動脈弁置換術に対して同等の結果でした。

### 【TAVIの方法】



TAVIはバルーンの上に乗せた生体弁付きのステントを大動脈弁の部位に留置する手技です。全身麻酔下で大動脈から行う場合と、小さな切開で心尖部から行う場合があります。カテーテルは18Fr(直径6mm)と太いため大腿動脈を切開して挿入するか、大腿動脈からの挿入が困難な場合は心尖部を切開して挿入します。

## 福井循環器病院 地域医療連携室

受付時間/平日 8:30~17:00  
土曜 8:30~13:00  
TEL:0776-54-5761(直通)  
FAX:0776-54-5977(専用)  
E-mail:heart-renkei@fcvc.or.jp

※左記、受付時間以外の電話・FAXは  
下記番号までお願い致します  
TEL:0776-54-5660(代表)  
FAX:0776-54-5977(時間外外来)

### 【対象となる方】

TAVIの対象となる方は主に重症の大動脈弁狭窄症の方で、開胸手術が何らかの理由でできないか非常にリスクの高い状態の方です。開胸手術が安全に試行できる場合は、未だ開胸手術の方が長期の予後が改善されることがわかっているため開胸手術の方が勧められます。また余命1年以内の方では対象になりません。主に対象となる方は以下のような方ですが、心エコーやCTスキャンなどによる評価の上適応が決定されます。

- 1. 高齢の方(主に85歳以上)
- 2. 過去に心臓の手術や放射線療法を行っている方
- 3. 慢性の肺疾患で普段から酸素を吸っている方
- 4. 大動脈が高度に石灰化している方 など。

### 【TAVIの合併症】

TAVIは主に重症な患者さんが対象となるため合併症も多岐にわたります。  
主な合併症は、カテーテル挿入部位などからの出血、脳梗塞、完全房室ブロックがあり、死亡率も退院までの期間で当初は10%程度ありました。現在では対象となる患者さんを慎重に選択し、これまでの経験を学ぶことから日本では2-5%程度の死亡率となっています。

### 【チーム医療】

TAVIは院内では心臓血管外科や循環器内科の医師だけでなく、麻酔科の医師、心エコーの専門医、臨床工学士、放射線技師、看護師など多くの職種が共同して行う手技です。対象となる患者さんは高齢であり、様々な疾患や生活上の問題を抱えていることが多く、入院中の管理だけで済むものではありません。術前、術後には地域の先生方にもチームの一員となっていただいて患者さんをケアしてもらおうことが大切と考えられています。

施設認可が取得でき次第ご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 薬剤科紹介



＜CCD(men)の計算式＞  
□男性 CCD = (140-年齢) × 体重 × 標準  
(74×0.75) × (kg/65)  
□女性 CCD = 0.85 × 男性 CCD  
常用量の薬剤  
ロゼニウム、ルガセル  
経口工業の薬剤  
○血中濃度が上昇する薬剤(腎-排泄自覚薬) ⇒ 減量の必要あり  
ロファン(腎機能低下時(クレアチニン値>1.5mg/dlより))  
ロファンロン ロファンリス ロファンネーション  
ロファンリムス ロファンネーション ロファンネーション、オスファンズル  
○血中濃度が低下する薬剤(腎-排泄自覚薬)  
ロファンロンカブール ロファンネーション

【プラザキヤ チェックシート】  
□ 1. 患者さんの年齢、性別、体重、腎機能(クレアチニン値)を確認する。  
□ 2. 処方された薬剤の名称、用量、用法を確認する。  
□ 3. 処方された薬剤の相互作用、副作用を確認する。  
□ 4. 処方された薬剤の禁忌症を確認する。  
□ 5. 処方された薬剤の処方期間を確認する。  
□ 6. 処方された薬剤の処方回数を確認する。  
□ 7. 処方された薬剤の処方時間を確認する。  
□ 8. 処方された薬剤の処方場所を確認する。  
□ 9. 処方された薬剤の処方担当者を確認する。  
□ 10. 処方された薬剤の処方承認を確認する。

薬剤科は、薬剤師13名(育児休暇中1名・パート4名)、補助員5名、合計18名のスタッフから成り、病棟業務、入院・外来調剤、抗癌剤・小児心筋保護液・中心静脈栄養の調整、TDM(治療薬物モニタリング)、生活習慣病教室などを行っています。

私たちの患者さんへの関わりは、服薬中のお薬を把握することから始まります。紹介頂いた先生からの診療情報提供書やお薬手帳を参考にして、患者さんが実際に持参されたお薬を全て見せていただいて持参薬報告をしています。

この情報を電子カルテに載せることで、主治医による前医薬継続指示や処方全体の見直しに役立てられています。また、薬剤師はその患者さんの薬物治療・服薬状況を知った上で介入を始めます。

主治医から入院処方が出ると、持参薬からの変更、用量変更、重複・相互作用などのチェックをし、問題があれば『疑義照会』をします。用法の変更や確認にとどまる事もありますが、腎機能からの用量調節、副作用歴のある薬剤の使用回避、検査値異常など、先生への問い合わせは入院・外来合わせて月160件に及びます。

その中でもNOAC(新規経口抗凝固薬)は各薬剤の適正用量チェックシート(図)を用いて確認しています。新人でもベテランでもチェック基準が一定に保たれるメリットがあります。他に糖尿病治療薬・SGLT2阻害薬や、DAPT(冠動脈ステント留置後の2剤併用抗血小板療法)開始時のチェックシートや副作用モニタリングシートなども作成し、活用しています。

一人でも多くの患者さんに関わり、質の高い薬物治療に貢献してゆくことが、私たち薬剤科の目指すところです。人材確保・人材育成に力を入れ、その成果が地域の先生方にも感じていただけるよう、一層努力いたします。今後ともよろしくお願いたします。

## 新任医師の紹介



消化器科部長 藤田 邦博先生  
卒業年次：平成5年  
専門領域：一般消化器外科  
認定医・専門等  
・日本外科学会専門医認定医  
・日本消化器内視鏡学会専門医  
不慣れですが、宜しくお願いいたします。



麻酔科 谷口 和孝先生  
卒業年次：平成20年  
専門領域：麻酔科  
認定医・専門等  
・日本麻酔科学会認定医



小児科 岡崎 新太郎先生  
卒業年次：平成19年  
専門領域：小児科一般  
認定医・専門等  
・日本小児科学会専門医  
よろしくお祈りいたします。



心臓血管外科 今岡 秀輔先生  
卒業年次：平成24年  
専門領域：心臓血管外科



心臓血管外科 千歳 樹子先生  
卒業年次：平成23年  
専門領域：心臓血管外科  
よろしくお祈りいたします。



## ◎行事予定

### ●病診連携講演会

日 時：平成27年6月5日(金) 19:00～20:30  
場 所：福井循環器病院 榊原記念ホール  
内 容：症例提示「慢性心不全に対して心臓再同期療法で効果があった症例」(当院医師)  
特別講演：「植込みデバイスによる心不全治療」 名古屋第二赤十字病院第二循環器内科部長 吉田幸彦先生

### ●病診連携講演会 ～心腎連関を考える～

日 時：平成27年6月11日(木) 19:00～20:40  
場 所：福井循環器病院 榊原記念ホール  
内 容：一般公演(当院医師)  
特別講演：「腎臓内科が考える利尿薬の使い方」 福井大学医学部腎臓病態内科学 教授 岩野正之先生

## ◎平成27年度地域開放学習会年間予定が決まりました

今年度は初めて丹南地区にて医師と理学療法士が出張講座を行わせていただきますので、多数のコメディカルの方々の参加をお待ちしております。予定表は別紙にて郵送させていただきます。  
6月4日(木) 19:00～20:30【福井循環器病院 榊原記念ホール】「心電図の基礎知識」  
6月6日(土) 13:00～15:30【丹南地区】「高齢者の心不全の内科的治療(仮)」水野副院長  
「心疾患を持つ患者さんへのリハビリテーション」理学療法士

## ♥患者さんの権利

福井循環器病院で医療を受けられる患者さんには次のような権利が保障されます。

- 1. 個人としてその人格を尊重される権利**  
患者さんが、ひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。
- 2. 良質で高度な医療を公平に受ける権利**  
患者さんは、どなたでも平等かつ公平に、良質で高度な医療を継続して受ける権利があります。
- 3. 十分な説明を受ける権利**  
患者さんは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)と情報を受ける権利があります。
- 4. 自己決定の権利**  
患者さんは、説明と情報提供を受け、充分理解・納得された上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利、あるいは拒否する権利があります。
- 5. 選択の自由の権利**  
患者さんは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 6. 情報の開示を求める権利**  
患者さんは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
- 7. プライバシーの保護と秘密を保持される権利**  
患者さんは、病院内でのプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

患者さんには、良質で安全かつ効率的な医療の提供を受けて頂くために次のことをお願いいたします。

- ご自身の健康に対する正しい情報の提供と医療への積極的なご参加
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたさないためのご協力
- 療養上、必要な制約を受けることへのご理解

## 地域医療支援病院

医療法人 福井心臓血管センター

## 福井循環器病院

〒910-0833 福井市新保2丁目228番地  
TEL.0776-54-5660(代)

- ホームページ <http://www.fcvc.or.jp/>
- E-メール [heart-hospital@fcvc.or.jp](mailto:heart-hospital@fcvc.or.jp)

## 診療案内

### 診療科目

循環器科・心臓血管外科、消化器科、呼吸器科、内科、外科、小児科、眼科、リハビリテーション科、小児外科、麻酔科、内分泌科(糖尿病)

### 診療指定

保険医療機関、国保医療取扱機関、労災指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核予防法指定医療機関、身体障害者福祉法指定医療機関、原爆被爆者一般疾患医療機関、救急告示病院

### 保険診療届出事項 (基本診療料の施設基準)

- 一般病棟入院基本料 (7対1入院基本料)
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算
- 医師事務作業補助体制加算 (75対1補助体制加算)
- 急性期看護補助体制加算(50対1)
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算2
- 退院調整加算
- 救急搬送患者地域連携紹介受入加算
- 特定集中治療室管理料1
- データ提出加算
- 呼吸器ケアチーム
- 入院食事療養(I)